

「ハマる、ハチノヘ。」 ツーリズム・シティプロモーション 特別委員会

日時：令和８年９月16日（水）
午前10時
場所：第２委員会室

○ 議 題

【広報統計課】

- 1 「ハ、ハ、ハ、八戸！８フェス」の実施報告について

【観光課】

- 2 食のまち・八戸の取組について
- 3 食のまち・八戸キャンペーン事業について
- 4 柏崎山車制作展示施設について
- 5 観光・物産PRの実施について（令和８年４月～９月）
- 6 まるで、ワンダーランド。セミナーについて

「ハ、ハ、ハ、八戸！8フェス」の実施報告について

1 事業概要

令和8年8月8日（土）は数字の「8」が3つ並ぶ特別な日であることから、「八戸」と「8」を掛け合わせた記念事業として、市内各所及び首都圏で関連企画やイベントを実施した。

2 実施日

主要事業：令和8年8月8日（土）（全体：7月13日～9月14日）

3 実施内容

20 事業（実績及び各事業の様子は別紙のとおり）

4 SNSによる情報発信

事業を周知し盛り上げるため、チラシ・ポスターを設置したほか、市公式 SNS（X, Facebook, LINEVROOM）を活用して情報発信を行った。

配信日	内容	インプレッション数	いいね数
7/15	市長メッセージ動画	32,848	316
7/30	8フェス宣伝動画	41,868	150
8/ 5	3日前（フォトスポット）	28,390	159
8/ 6	2日前（婚姻届・バッジ）	24,135	105
8/ 7	1日前	27,652	78
8/ 8	当日	23,479	150
	婚姻届受付中	69,777	521
	卓球せんべい大会	9,318	67
	ピタリンピック	29,623	199
	婚姻届窓口受付終了	49,782	540
	食のまち・八戸宣言	8,469	54
	八戸駅お出迎え	15,981	86
	ヴァンラーレ入場者数	25,590	338

「ハ、ハ、ハ、八戸！8フェス」各事業の実績について

	事業名	事業内容	実施日	場所	参加人数等	担当課
1	八戸未来フォトコンテスト2026写真展	「未来に残したい八戸の風景」をテーマにしたフォトコンテストの応募作品をに美術館に展示するとともに、来館者投票を行った。	8/8～8/16	美術館	(来館者数) 2,528人 (来館者投票) 81票	政策推進課
2	帰省客お出迎えイベント	八戸駅に到着した帰省客に向けて、八戸圏域のパンフレット等が入ったトートバックのほか、市独自でいかずきんズの缶バッジと超帰省クーポンを差し込んだティッシュを配布。さらに、のぼり等を掲出しながら、八戸圏域のマスコットキャラクターがお出迎えを行った。	8/8	八戸駅 (東北新幹線 改札口前)	(八戸圏域職員) 23人	若者活躍応援課
3	令和8年度 国スポ応援 南部卓球大会「南部 SENBEI-PON！888杯」	令和8年に青森県で開催される国民スポーツ大会に合わせ、南部せんべいをモチーフとした木の卓球ラケットを使い、「8」の形をしたコートでご当地卓球大会を開催。参加者は事前にラケット制作ワークショップに参加し、オリジナルのラケットを制作。	8/8	八戸ポータル ミュージアム (1階はっちひ ろば)	(参加者数) 31名	八戸ポータル ミュージアム
4	食のまち・八戸宣言	(主な内容) ・「食のまち・八戸宣言」セレモニー ・ブランドロゴマーク発表 ・飲食ブース及びキッチンカー出店 ・懐かしのひつつみ販売 ・八戸の食をめぐるトークイベント ・八食センター特別企画「旬の味覚と七厘村炭火焼き体験」 ・国スポ・障スポPRブース ・pacchiステージ	8/8	八食センター	(参加者数) 320人	観光課
5	8base「888の日」ミニ企画	(1)「ハチブチギフト」プレゼント 8base店頭にて、観光パンフレットとノベルティをセットにした「ハチブチギフト」を数量限定(各日100部)配布。 (2)「いちご煮」特別価格提供 8baseレストランで「いちご煮」を880円(各日限定8食)で提供。 ※通常価格1,350円	8/8, 8/9 各日11時～	八戸都市圏交 流プラザ8base	(配布数) 200人	観光課
6	八戸888の日×八戸 ブックセンター10周年 記念グッズ販売事業	八戸ブックセンターにおいて、「八戸888の日」と八戸ブックセンター開設10周年を記念したグッズ(アクリルキーホルダー8種類:各660円(税込))を販売。	8/8～	八戸ブックセ ンター	(販売数) 127個 <8/31現在>	文化創造推進 課 (八戸ブックセ ンター)
7	2026/2027明治安田J2 リーグ開幕戦 「ハハハ八戸！全緑 デー」	2026/2027明治安田J2リーグ開幕戦をホームタウンデー「ハハハ八戸！全緑デー」とし、ブースを出展したほか、八戸市民キッズデーとして市内の小学生53人を無料で招待。	8/8	ブライフーズ スタジアム	(入場者数) 4,088人	スポーツ振興課
8	YSアリーナの8を探そう！	氷都八戸のスケート文化やYSアリーナを知ってもらうため、館内に設置した8つのクイズに答え、全て正解すると記念品をプレゼントするもの。	8/8	YSアリーナ 八戸	(参加者数) 99人	長根屋内スケート場
9	888記念ライトアップ	八戸市総合保健センターを8色にライトアップする。	8/8	総合保健セン ター	—	保健総務課

	事業名	事業内容	実施日	場所	参加人数等	担当課
10	オリジナル婚姻届配布	オリジナルデザインの婚姻届を作成し、市内関係施設に設置。	7/13～8/31	市民課 南郷事務所 市民ＳＣ	(配布数) 約250枚	市民課 南郷事務所 広報統計課
11	ハチ婚記念証プレゼント	①8月中に婚姻届を提出した方に、オリジナル缶バッジを配付。 ②8月8日に婚姻届を提出した方に、後日、オリジナルアクリルパネルを郵送。	①8/1～8/31 ②8/8		(配布数) ①228個 ② 80個	
12	888ベビー記念証プレゼント	①8月生まれの方にオリジナル缶バッジを配付。 ②8月8日生まれの方に、後日、オリジナルアクリルパネルを郵送。	①8/1～9/14 ②8/8～8/22		(配布数) ①73個 ② 2個	
13	ハチ婚フォトスポット	オリジナル婚姻届をモチーフにしたデザインのフォトスポットを設置。	8/5～8/31	八戸市庁本館 1階エントランスホール	—	広報統計課
14	出張！盛り上がり隊！ 8.88秒ピタリンピック！	令和8年8月8日にちなんで、参加者がストップウォッチを8.88秒で止めることに挑戦する体験型企画。ルールが簡単で、子どもから大人まで気軽に参加でき、見ている人も一緒に盛り上げられることから、にぎわいを創出し、一体感を高める取組として実施する。 (主催：八戸駅かいわいで盛り上がり隊)	8/8	八食センター (「食のまち・八戸」宣言イベント会場付近)	(参加者数) 約200人	都市政策課
15	「8」にまつわる本 (展示・貸出)	「8」にまつわる本を集め、展示・貸出しを行う。その他、八戸に関する本、恥、蜂など、幅広いジャンルの資料を展示した。	8/8～8/31	図書館	(貸出冊数) 181 冊	図書館
16	入館料無料	先着888人の観覧料を無料とする。	8/8	美術館	(入館者数) 474人	美術館
17	入館料無料	是川縄文館の常設展示室・特別展示室を無料開放する。	8/8	是川縄文館	(入館者数) 463人	是川縄文館
18	夏休み縄文体験コーナー無料実施	例年夏休み期間中の土日に実施している夏休み縄文体験コーナーを無料実施する。(火起こし体験・滑石の勾玉作り・耳飾り作り・土偶作り)	8/8	是川縄文館	(参加者数) 237人	是川縄文館
19	入館料無料	史跡根城の広場を無料開放する。	8/8	史跡根城の広場	(入館者数) 107人	博物館
20	入館料無料	南郷歴史民俗資料館を無料開放する。	8/8	南郷歴史民俗資料館	(入館者数) 28人	博物館

「ハ、ハ、ハ、八戸！8フェス」各事業の様子について

①八戸未来フォトコンテスト 2026 写真展 ②帰省客お出迎えイベント



③令和8年度 国スポ応援 南部卓球大会「南部 SENBEI-PON！888杯」



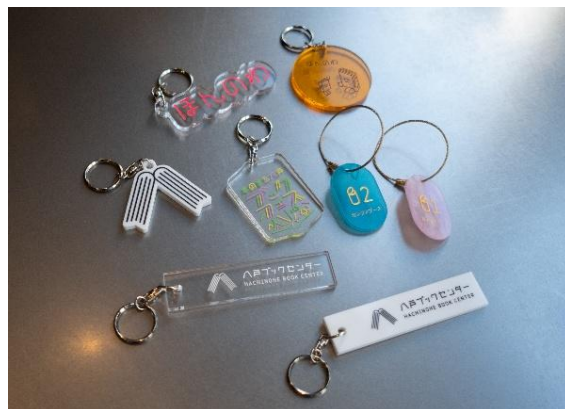
④食のまち・八戸宣言



⑤8base「888の日」ミニ企画



⑥八戸 888 の日×八戸ブックセンター
10 周年記念グッズ販売事業



⑦2026/2027 明治安田 J2 リーグ開幕戦「ハハハ八戸！全緑デー」



⑧Y S アリーナの 8 を探そう！



⑨ 8 8 8 記念ライトアップ



⑩オリジナル婚姻届配布



⑪ハチ婚記念証プレゼント



⑫ 8 8 8 ベビー記念証プレゼント



⑬ ハチ婚フォトスポット



⑭ 出張！盛り上がり隊！
8.88 秒ピタリンピック！



⑮ 「8」にまつわる本



⑯ 夏休み縄文体験コーナー無料



<ハ、ハ、ハ、八戸！8フェス ポスター画像>

食のまち・八戸の取組について

1 「食のまち・八戸宣言」記念イベントについて

(1) 目的

「食のまち・八戸宣言」及びブランドロゴマークを市内外に広く発信するとともに、八戸の食の魅力を実際に味わい、楽しむ機会を創出することにより、「食べるために訪れたくなるまち」の実現に向けた機運を醸成し、食を活用した観光振興及び地域ブランドの確立につなげることを目的として開催した。

(2) 開催概要

① 日時

令和 8 年 8 月 8 日（土）午前 10 時～午後 4 時

② 会場

八食センター

③ 主催

八戸市（受託者 デーリー東北新聞社）

④ セレモニー来場者数

約 320 人

8 月 8 日の八食センターの入込客数 17,948 人
（前年対比：118.9%、前々年対比：122%）

⑤ 主な内容

- (ア) 「食のまち・八戸宣言」セレモニー
- (イ) 「食のまち・八戸」ブランドロゴマーク発表
- (ウ) 復活グルメ企画「懐かしのひつつみ」販売
- (エ) トークイベント「八戸の食、これから、もっと面白い。」
- (オ) 八食センター特別企画「旬×炭火」特別な食体験
- (カ) 市内事業者等による飲食・物販
- (キ) 関係者レセプション
- (ク) 国スポ・障スポPR企画
- (ケ) 8.88 秒ピタリンピック
- (コ) ぱっちによるステージ企画

(3) 「食のまち・八戸宣言」セレモニー

- ・ 千葉学園高等学校調理科の生徒3名と市長による「食の冒険者が憧れるまち・八戸」の宣言
- ・ 「食のまち・八戸」のブランドロゴマークを公表
- ・ 宣言文及びロゴマークを掲載したリーフレットを配布



(宣言の様子)



(ロゴ発表の様子)

(4) 主なイベント内容

① トークイベント

「八戸の食、これから、もっと面白い。」をテーマに、市内の飲食事業関係者5名によるトークイベントを開催。

【登壇者】

- ・ 大久保 圭一郎氏（金剛グループ代表）
- ・ 市川 広也氏（株式会社イチカワファーム代表取締役）
- ・ 工藤 大地氏（株式会社ヴァンタス代表取締役）
- ・ 津曲 泰弘氏（パティスリーヤスヒロ オーナーシェフ）
- ・ 佐藤 容紹氏（八戸水産価値向上実行委員会）



(トークイベントの様子)

② 復活グルメ企画「懐かしのひつつみ」販売

かつて八戸で親しまれた、懐かしいひつつみを1杯 500 円、250 食限定で販売。



(販売の様子)



(懐かしのひつつみ)

③ 八食センター特別企画「旬×炭火」特別な食体験

- ・ 八食センターを会場に、料理人と市場を巡りながら、旬の食材の選び方や目利きのポイントを学び、食材を捌く実演の見学や炭火焼き、お酒とのペアリングを楽しむ、10 名限定の食体験企画を実施した。
- ・ 八戸日本料理業芽生会「割烹 銀波」三代目の城前孝史氏を講師に迎え、「知る・選ぶ・焼く・味わう」を一連の体験として提供することで、八食センターならではの食の魅力を五感で楽しむ機会を創出した。

令和8年8月8日
8フェス 特別企画

市場を巡り七厘村で焼く！

旬×炭火 特別な食体験

料理人と巡る、選ぶ、学ぶ、焼く、味わう。八戸の旬を五感で楽しむ特別イベント。

参加者大募集！

開催日時	令和8年8月8日(土) 10:00~14:00
開催場所	八食センター館内及び七厘村
定員	10名
参加費	5,000円(税込)

応募締切 8月5日(水)まで

右のQRコードを読み込み、専用申込フォームから、またはお電話にてお申し込みください。

講師 八戸日本料理業芽生会「割烹 銀波」三代目 城前 孝史氏

(八食センターHP より)



(体験の様子)



④ レセプション

来賓、関係団体、出演者等を対象としたレセプションを開催し、今後の展開に向けた関係者間の交流を図った。

参加者 32 名



(レセプションの様子)

⑤ 食のまち・八戸ロゴ×国スポ PR 記念品

「食のまち・八戸宣言」と、10月に開催される青の煌めきあおもり国スポ・障スポを一体的にPRした。

- ・ 八戸の地酒へのオリジナルロゴ（食×国スポ）シールの貼付
- ・ オリジナルうちわ（食×ロゴ）
- ・ 食のまち八戸宣言×国スポ×八食センター×いかずきんズシール作成。



(記念品・日本酒)



(記念品・うちわとシール)

⑥ 飲食・物販

- ・ 市内事業者等の協力により、八戸の食を実際に味わうことのできる飲食・物販ブースを展開。
- ・ 食のまちロゴオリジナルラベルの日本酒3種（八仙、如空、桃川）を販売。（写真は如空、桃川）



⑦ 関連企画

- ・ 10月に開催される青の煌めきあおもり国スポ・障スポPRブース
- ・ 八戸市の「8」にちなんだ「8.88秒ピタリンピック」
- ・ ぱっちによる歌唱・トーク

⑧ 広報

- (ア) イベント開催に当たり、次の媒体等を活用して事前周知を行った。
- (イ) ポスター、チラシ
- (ウ) 市ホームページ、SNS
- (エ) dボタン広報
- (オ) テレビCM（八食センター7月下旬～）
- (カ) 八食センター館内放送
- (キ) 地元新聞広告（8/1、8/5、8/8、8/9）

(5) 今後の展開

- ・ 宣言に掲げた5つの行動指針に基づき、八戸食文化会議やワーキンググループ、関係団体等と連携しながら、新たな食体験として、はちのへ食文化博覧会やワールドシーフードウォークなどの具体的な取組を展開する。また、次世代への食文化の継承、人材育成等の取組を進め、「食の冒険者が憧れるまち・八戸」の実現を目指す。
- ・ 別紙資料「食のまち・八戸キャンペーン事業について」のとおり各キャンペーンを推進していく。

食の冒険者が憧れるまち・八戸宣言文

私たちのふるさと八戸は、古くから港町として栄え、人やものが行き交う交易の拠点として発展してきました。黒潮と親潮がぶつかり合う八戸前沖は、美味しい魚が揚がり、四季を通じた豊かな自然は、野菜、果物、畜産物などの恵みをもたらしてくれます。

この恵みと、交易港ならではの開放性と受容性は、市民の食への興味をかきたて、食への誇りを培い、訪れた人を笑顔にし、類まれな技を持つ料理人を惹きつけてきました。八戸人の心と風土は、食に関する様々な挑戦や夢を応援し、朝市や横丁など八戸ならではの食文化を花開かせてきたのです。

このまちには、受け継がれてきた味があり、新しく生まれる味があります。

食を極めようとする料理人。

八戸の食材をつくり育てる人。届ける人。

日々の食を楽しむ市民。

そして八戸を訪れ、八戸の味に出会う人。

皆、「食を探求する冒険者」で、そんな冒険者が集うのが、この八戸なのです。

食を生み出す冒険者たちは、八戸の食文化の奥底を覗くように、食材の魅力を追求し、技術を進化させることで、斬新なアイデアを次々と生み出し、一層の輝きを増していきます。

そして、食を味わう冒険者たちは、新しい食体験を求め、国内外からこのまちを訪れるようになるでしょう。

そんなまちこそ、八戸が目指す『食のまち』の姿です。

『食の冒険者が集うまち』から『食の冒険者が輝くまち』へ、さらには『食の冒険者が憧れるまち』を目指す、その第一歩がここから始まります。

令和八年八月八日、私たちは、「食の冒険者が憧れるまち・八戸」をここに宣言します。

（行動指針）

私たちは食の冒険者として、次の行動を実践します。

- 一、子どもたちに八戸の食の豊かさ、楽しさ、食文化を伝えていきます。
- 一、地産地消を進めて地域経済を活性化し、新たな産業を創造します。
- 一、食をエンジンに観光人材を発掘し育てます。
- 一、五感で味わい、楽しめる食体験を創り出します。
- 一、食の素晴らしさを通じて国内外の方とおもてなしの心でふれあい、何度も訪れたいまちをつくれます。



For Food Adventurers 食のまち 八戸

(ブランドロゴの構成)

- ブランドロゴは、シンボルマークと「食のまち 八戸」、「For Food Adventurers (食の冒険者たちへ)」というロゴタイプで構成されています。

(デザインに込めた意味)

- シンボルマークは、「八戸」と「食」をモチーフに、「双眼鏡」のイメージを重ねて、八戸の食の魅力を見つけ、楽しむ「食の冒険者」を表現しています。

2 頑張れ！福島選手 ハマる、ハチノヘ。観光プロモーション in ES CON FIELD HOKKAIDO について

(1) 目 的

北海道や首都圏を含む広域から集客を有する施設「エスコンフィールド HOKKAIDO」で、八戸市出身である北海道日本ハムファイターズに所属する福島蓮選手の活躍を応援するとともに、当市の魅力を発信するイベントを開催することにより、地元特産品の認知度向上、八戸市への来訪意欲の向上を図る。

(2) 日 時

令和 8 年 6 月 19 日（金）15 時 45 分～19 時

(3) 場 所

エスコンフィールド HOKKAIDO（1F FIELD LEVEL コンコース 特設ブース）
北広島市 F ビレッジ 1 番地

(4) 開催内容

①熊谷市長トップセールス

6 月 19 日（金）11:00 ㈱北海道新聞社 代表取締役社長 堀井友二氏を表敬
15:00 エスコンフィールド内視察
16:00 熊谷市長によるトップセールス
八戸に関連するクイズ及びノベルティ・パンフレット配布

②物産販売

チョコ Q 助、なかよし、南部せんべいなど、八戸周辺の特産品を販売。

【売上実績】 合計 155,600 円

商品名	販売数	商品名	販売数
八戸せんべい汁セット	10	リンゴジューススタンドパック	20
南部せんべい（ごま）	10	スタミナ源たれさきいか	20
南部せんべい（豆）	10	紅玉アップルパイ	30
南部せんべい（ミックス）	10	黒にんにく	10
なかよし（オリジナル味）	20	チョコ Q 助（チョコ）	40
なかよし（ブラックペッパー味）	20	チョコ Q 助（ホワイトチョコ）	40

③観光 PR ブース出展

・市の観光パンフレット等を配布。

【実績】 配布数 300 部

・八戸に関連するクイズ及びノベルティ（チョコ Q 助・なかよし）の配布を実施。



ブース設営①



ブース設営②



フェアの様子



市長トップセールス

八戸市の観光ブースで客をもてなす熊
谷雄一市長（右）＝19日、北広島市の
エスコンフィールド北海道



日ハム福島投手出身地

ハチノヘエスコンでPR

【北広島】プロ野球北海道日本ハムの本拠地球場「エスコンフィールド北海道」（北広島市）で19日、同球団の福島投手の出身地、青森県八戸市がPRブースを出店した。同市の熊谷雄一市長も訪れ、特産品の販売を通じて魅力を発信した。

八戸市への誘客を目指して企画された。球場1階で「ハマル、ハチノヘ。観光プロモーション」と題し、南部せんべいや黒ニンニク、リンゴジュースなど12種類を販売。日ハム対ソフトバンクの試合の観戦客らが詰めかけ、完売した。

福島投手の等身大パネル

（竹田菜七）

や、「八戸の夏のお祭りは？」などのクイズに正解すると特産品がもらえるコーナーも設置。札幌市中央区の主婦高木亜希子さん（51）は「同じ東北出身でうれし

い。とても良い企画」と喜んでいった。エスコンでは5月、日本ハムの春季キャンプ地の沖縄県名護市もPRブースを出店し、特産品を販売した。

令和8年6月20日（土） 北海道新聞掲載

「良き隣人 関係深めたい」

日ハム・福島投手出身地で縁

【北広島】市内のプロ野球北海道日本ハムの本拠地「エスコンフィールド北海道」を19日に訪れ、青森県八戸市の観光PRの「トップセールス」を行った同市の熊谷雄一市長(63)。海路や鉄路などで結ばれている八戸と道内について、今後の展望などを聞いた。

「日本ハム所属で八戸出身の福島投手の縁から実現した観光PR企画でした。」

「多くの方が観光ブラスを訪れ、(八戸の観光名所の)種差海岸や八戸三社大祭の写真を見て『わあ、きれい』『すごい』と言ってくれました。魅力の発信につながったと思います。」

「福島投手をどうみていますか。」

「活躍ぶりが素晴らしい。球団内でさらに中心的な選手となることを期待しています。」

「北広島はスポーツを通じたまちづくりが特徴

の一つですが、八戸はどうでしょうか。」

「昔から『水都八戸』と呼ばれるくらいスケート文化が根付いています。サッカーJリーグ2部(J2)のヴァンラーレ八戸FCも盛り上がっています。今年は約半世紀ぶりに青森県で国民スポーツ大会が開催されます。スポーツを通じた経済効果にも注目しています。」

「北海道とのつながりをどう捉えていますか。」

「新幹線や八戸―苫小牧間のフェリーに加え、(八戸に近い三沢空港からの)航空便で札幌(丘

珠空港)と結ばれていてアクセス手段が充実しています。苫小牧市とは市職員同士のサッカー交流を半世紀以上、続けている歴史もあるので、連携

も深いと思います。今後は苫小牧市だけでなく(千歳や恵庭、北広島、札幌などを含む)近隣自治体と、良き隣人としてつながりができることを期待しています。八戸への誘客にも結びつくとうれしいですね」

(聞き手・山田健裕)



「北海道の良き隣人として手を携えていきたい」と語る青森県八戸市の熊谷雄一市長

令和8年6月27日(土) 北海道新聞掲載

エスコンで八戸PR

市が観光プロモ ハム福島投手を応援



八戸市が実施した観光プロモーション（同市提供）

八戸市は19日、プロ野球日本ハムの本拠地球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」（北海道北広島市）でプロモーション活動を実施し、八戸の食や観光スポットをPRした。

日ハムで活躍する福島選手は八戸市出身、八戸西高出身。二を応援し、八戸の魅力を発信するイベントとして開催。「頑張れ！福島選手 ハマる、ハチノヘ。観光プロモーション」と銘打ち、熊谷雄一市長

がトップセールスを展開した。

この日は日ハム対ソフトバンクの試合が行われ、多くの人が来場。ブース出展では八戸せんべい汁セットや「チョコ助」「なかよし」などを販売し、ほぼ完売したという。八戸三社大祭や種差海岸などの観光をアピールしたほか、八戸に関するクイズ企画も行われた。

今回のプロモーションは、将来の北海道新幹線札幌延伸を見据えた観光誘客が狙い。フェリー航路で結ばれた八戸と北海道苫小牧市の「八戸」もPRした。

八戸市観光課の下村晃一課長は「プロ野球というスポーツを通して、八戸をより身近に感じてもらえる機会になったのでは。北海道とは違う、八戸の食の魅力を発信したい」と話した。（松原一茂）

3 はちのへフェア in 羽田空港について

(1) 目 的

世界有数の乗降客数を誇り、国内外の来場者であふれる羽田空港において、市長のトップセールスや、八戸の魅力（特に食のまち）を発信するイベントを開催することにより、地元特産品の認知度向上、販路拡大、さらには八戸市への来訪意欲の向上を図る。

(2) 日 程

①物産販売

令和8年11月19日（木）～25日（水）平日9時～18時、土日8時～19時

②観光PR

令和8年11月21日（土）10時～17時、22日（日）10時～15時

(3) 場 所

羽田空港第一ターミナル2階（羽田産直館・マーケットプレイス）
（東京都大田区）

(4) 開催内容

①市長トップセールス（11月22日（日））

②空港内レストラン「新大和」にて、「食のまち・八戸定食」をメニュー開発・提供

③八戸うまいもの市場（羽田産直館にて物産販売）

④郷土芸能披露及びいかずきんズグリーティング

⑤八戸観光PRコーナー（パンフレット及び来場者へのプチギフト配付）

【昨年度の開催の様子 令和7年10月3日（金）～5日（日）】



羽田産直館
（八戸うまいもの市場）



マーケットプレイス
（市長トップセールス）



空港内レストラン新大和
（八戸いろどり御膳）

4 種差海岸での「世界最大級のお月見会」の開催について

(1) 目 的

詩人・草野心平が「ザボンの月」と称した種差海岸のお月見を広くPRするため、「食と学びのお月見会（仮称）」を開催するとともに、種差海岸のお月見を楽しめる時期において、キャンペーンを実施する。

(2) 概 要

期 間：10月下旬～12月下旬

場 所：種差天然芝生地、種差海岸インフォメーションセンター、種差地域の飲食店

内 容：上記機関を種差海岸での「世界最大級のお月見会」キャンペーンと銘打ち、JRや種差地域の施設・飲食店等と連携を図り、お月見カレンダー入りポスター及びチラシを作成し、JR八戸線の定期便等を活用しながら、秋・冬の種差海岸への誘客を図る。

(3) 開催内容（予定）

①種差海岸での「世界最大級のお月見会」キャンペーン開催

日程：10月下旬～12月下旬

場所：種差天然芝生地

内容：(ア) 八戸駅・種差海岸駅等にお月見カレンダー入りポスター及びチラシを掲示・配架し、来訪者に、月の出や月の入りの時間、鑑賞方法等の情報を提供する
(イ) 満月の日（10月26日（月）、11月24日（火）、12月24日（木））にノベルティを配布

②食と学びのお月見会（仮称）の開催（八戸市主催）

日程：11月22日（日）、23日（月）予定

場所：種差天然芝生地、種差海岸インフォメーションセンター、種差地域の飲食店

内容：(ア) お月見会（ガイドによる解説付）
(イ) ゲストによる月と食をテーマとしたトークイベント
(ウ) 飲食店による飲食物の販売
(エ) 来場者へのノベルティ配布

(4) 告知方法

- ①ポスター、チラシ作成
- ②WEB（市、VISITはちのへ）
- ③新聞広告

（５）参考

特定非営利法人ACTY主催「お月見会バル」の開催（予定）

日程：10月28日（水）

内容：①種差海岸でのお月見特別イベント

②お月見会のほか、周辺飲食店で地域食材を活用した「お月見特別メニュー」の提供等

【昨年度の開催の様子 令和7年11月1日（土）～2日（日）】



月のガイド



月の道鑑賞



ステージイベント①（市長挨拶）



ステージイベント②
（デビッド・マッシューズ氏）

食のまち・八戸キャンペーン事業について

1 食のまち・八戸満喫宿泊キャンペーン事業について

(1) 事業の目的

昨年12月及び本年4月・6月に発生した地震等の影響により一時的に落ち込んだ観光需要の回復・定着を図るとともに、観光需要が低下する冬季の宿泊需要を喚起するため、市内宿泊施設への宿泊を促進するキャンペーンを実施する。

また、「宿泊」と「飲食」を組み合わせた支援を行うことで、観光客の来訪・滞在を促進し、市内における観光消費の拡大を図る。

さらに、宿泊者に八戸の食を実際に体験してもらう機会を創出することで、「食のまち・八戸」の魅力を発信し、今後の再訪やリピーターの獲得につなげる。

なお、本事業の実施に当たっては、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用する。

(2) 事業概要

①事業名称	食のまち・八戸満喫宿泊キャンペーン事業
②対象者	市内の登録宿泊施設に宿泊する方
③実施期間	令和8年11月1日～令和9年1月31日（予定）
④発行総数	9,000人泊分
⑤宿泊割引	1泊あたり3,000円
⑥予約方法	株式会社リクルートが運営する宿泊予約サイト「じゃらん」を通じて予約
⑦地域クーポン	1泊あたり3,000円分
⑧クーポン利用先	市内の登録飲食店
⑨クーポン利用方法	デジタルクーポンによる利用
⑩事業費	75,000千円 (宿泊割引原資27,000千円、地域クーポン原資27,000千円、事務費21,000千円)

(3) 今後のスケジュール（予定）

- ①令和8年9～10月 事業内容の確定、宿泊施設・飲食店の募集・登録、周知
- ②令和8年10月15日 キャンペーン予約開始
- ③令和8年11月1日 キャンペーン開始
- ④令和9年1月31日 キャンペーン終了
- ⑤令和9年2月以降 実績集計・効果検証

食のまち・八戸

満喫

宿泊キャンペーン

宿泊

最大3,000円割引



お食事クーポン

3,000円分

ハマる、
冬のハチノヘ。

八戸に泊まる人を、あなたのお店へ。



For Food Adventurers
食のまち 八戸

「食のまち・八戸満喫宿泊キャンペーン」
お食事クーポンが使える**参加店**を募集します

参加費
無料

今回のクーポンは **宿泊とセットとなります。** **QRを使ったデジタルクーポン形式です。**

キャンペーン期間：11月1日～1月31日

八戸市では、宿泊された方に地域クーポンを使って地域のお店を楽しんでもらう「食のまち・八戸満喫宿泊キャンペーン」を実施します。

「どうやって使うの?」「会計はどうするの?」
「売上はどう精算されるの?」

そんな疑問も、説明会で分かりやすくご案内します。

飲食店向け説明会

事業の内容、電子クーポンの使い方、お店での会計・精算方法、参加手続きなどをご説明します。

9月18日(金)

【13:00～14:30予定】

会場：八戸総合卸センター「HOCコネクト」
現地+オンライン開催 / 参加無料

説明会・参加申込はこちら



加盟店
申込締切

9月25日(金)



お問い合わせ

食のまち・八戸満喫宿泊キャンペーン事務局

TEL: 0120-55-3510((株)エス・バイ・シーホールディングス内)
E-mail: hachinohe-mankitsu@sv-c.jp

主催：八戸市

2 食のまち・八戸応援食事券事業について

(1) 事業の目的

令和8年8月8日の「食の冒険者が憧れるまち・八戸」宣言を記念して、物価高騰の影響を受ける市民生活を支援し、市内飲食店の利用促進及び地域経済の活性化を図るため、「食のまち・八戸応援食事券」の第2弾を実施する。

なお、本事業の実施に当たっては、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用する。

(2) 事業概要

①事業名称	「食の冒険者が憧れるまち・八戸」宣言記念 食のまち・八戸応援食事券事業
②対象者	八戸市民
③利用開始	令和8年11月下旬（予定）
④利用期間	令和8年11月下旬～令和9年2月下旬（予定）
⑤食事券	1,000円×8枚綴り＝8,000円 5,000円で販売 プレミアム率60% 1人1セット限り
⑥発行総数	20,000セット
⑦購入方法	専用Webサイト又は専用はがきによる事前申込制 応募者多数の場合は抽選。
⑧食事券利用店舗	市内飲食店（公募により決定）第1弾参加店には個別に連絡
⑨食事券販売店舗	市内スーパー等 約10か所を予定
⑩事業費	80,000千円（食事券原資60,000千円 事務費20,000千円）

(3) 第1弾を踏まえた対応

第1弾では、事業の周知が行き届かないとの意見が寄せられたことを踏まえ、第2弾では、事務費を第1弾から2,000千円増額し、広報の充実を図る。

多様な広報媒体を活用するとともに、計画的な情報発信を行い、事業の周知を図る。

(4) 実施スケジュール（予定）

①令和8年9月下旬	参加飲食店募集開始
②令和8年10月上旬	参加飲食店募集締切・市民向け広報開始
③令和8年10月上旬～10月中旬	食事券購入申込
④令和8年10月中旬以降	抽選・当選通知
⑤令和8年11月下旬	食事券引換・利用開始
⑥令和9年2月下旬	利用終了

柏崎山車制作展示施設について

昨年に引き続き、市民や観光客を対象とした施設入居者（類家、下大工町、下組町、十一日町、塩町）による山車の展示が行われた。

1 展 示 期 間 令和8年8月13日（木）から15日（土）までの3日間

2 展 示 時 間 10:00 から 16:00 まで

3 時間別入込数

天気：8/13（曇り）8/14（晴れ）8/15（晴れ）

単位：人

	～10:00	～11:00	～12:00	～13:00	～14:00	～15:00	～16:00	合計
8/13	13	149	168	112	126	170	152	890
8/14	19	131	150	132	188	281	209	1,110
8/15	25	143	226	160	257	255	220	1,286

昨年度：令和7年8月15日のみ集計 入込数 1,569 名

【参考】まつりんぐ広場山車展示入場者数

単位：人

	8/13	8/14	8/15	合計
R7	402	507	337	1,246
R8	423	424	374	1,221

4 展示の状況

- （1）8/13、14 は、人・車の流れは、終日スムーズであったが、8/15 は、15 時頃から駐車スペースの使用が増加して満車となったため、駐車場内の交通誘導を一時的に行った。
- （2）昨年よりも一日あたりの来場者数は減少した。
- （3）ゆっくり観覧できる機会として、デイサービスや車椅子の方などの来訪が多くあった。
- （4）キッチンカーが毎日5台配置されていた。
- （5）展示終了後には、地域主体のジャズイベントが開催された。（8/15 16:00 から）
イベント名：夕暮れジャズライブ（出演：八戸ジャズ楽団）観覧者数約 350 人

5 展示状況写真 (8/13、14 撮影)



8/15 16:00～ジャズイベントの様子



観光・物産 PR の実施について（令和 8 年 4 月～9 月）

1. 大型クルーズ船「飛鳥Ⅲ」

令和 7 年 7 月に就航した国内最大級のクルーズ客船「飛鳥Ⅲ」（郵船クルーズ株式会社、総トン数 52,265 トン、乗客定員 680 人）が、日本一周クルーズの一環で八戸港に初めて寄港した。

（1）入港・出港日時

入港：令和 8 年 5 月 31 日（日）7:00

出港：令和 8 年 5 月 31 日（日）18:00

（2）場 所

八戸港八太郎 4 号埠頭 P 岸壁

（3）対応内容

お出迎えやお見送りのほか、観光案内ブースを設置し、乗客への観光 PR や問合せ対応を実施



2. 国スポデモンストレーションスポーツ「空道」会場へのブース出展

国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツの「空道」の会場にて、来場者への観光 PR および物産販売を実施した。

（1）日 時 令和 8 年 5 月 31 日（日） 9:00～17:00

（2）会 場 YSアリーナ

（3）実施内容 ・八戸エリアの特産品の販売
・観光 PR（パンフレットの配布等）



3. 青森県観光商談会

首都圏からの更なる誘客促進に向け、首都圏旅行会社と青森県内観光関係事業者との「青森県観光商談会」に参加した。

（1）日 時 令和 8 年 6 月 8 日（月） 13:00～17:00

（2）会 場 ホテルメトロポリタン（東京都豊島区）

（3）主 催 青森県、公益社団法人青森県観光国際交流機構

（4）参加団体 首都圏旅行会社 19 社

（5）商談社数 9 社（青森県がマッチング）

※商談 1 件あたり 12 分

（6）商談内容 八戸えんぶりやブイヤベース、
館鼻岸壁朝市等のコンテンツについて説明



4. インバウンド事業

【1】インフルエンサー招請

東北観光推進機構が「2026 年度北米における東北プロモーション事業」の一環で実施するインフルエンサー招請事業へ参画し、八戸市の魅力を発信するプロモーションを実施した。

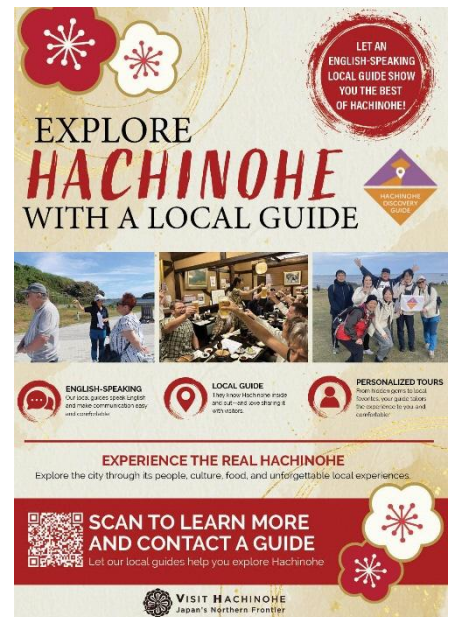
- (1) 日 時 令和 8 年 9 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)
- (2) 招請者 アメリカ、カナダ出身のインフルエンサー 2 名
- (3) 主 催 一般社団法人東北観光推進機構
- (4) 訪問先 八戸酒類、種差海岸、燕嶋神社、
八戸横丁、館鼻岸壁朝市



【2】米軍三沢基地内月刊誌「Leisure Times」への広告掲載

基地内の福利厚生・レクリエーション情報誌「Leisure Times」(9月号)へ広告を掲載した。

- (1) 発行部数 毎月 2,500 部以上
- (2) 設置場所 三沢基地内の飲食店や遊戯施設など
(フリーペーパーとして設置)
- (3) 媒体役割 基地内のイベントや各種プログラム等の情報を掲載する日常的に利用されるメディア
- (4) 掲載内容 英語で案内可能な地元のローカルガイド組織「八戸ディスカバリーガイド」を紹介した。「ガイドと一緒に八戸の街並みや文化、食を満喫できること」や「旅行者の希望に合わせたオーダーメイドの案内ができること」を魅力的な写真とともにアピールした。さらに、詳細情報や問い合わせにすぐアクセスできるよう、QR コードを掲載した。
- (5) 掲載サイズ A4 判 1/4 ページ



まるで、ワンダーランド。セミナーについて

1. 目的

八戸圏域の飲食・宿泊・観光関連事業者等を対象に、地域の食文化資源を活かした観光振興及び来訪促進につなげるための考え方を学ぶ機会として、セミナーを開催する。

八戸市が「美食都市アワード 2026」に選定されたことや「食の冒険者が憧れるまち・八戸」宣言を契機に、八戸圏域にある食材、郷土料理、酒、朝市、横丁、祭り等と食のつながりなど、地域ならではの食文化資源を改めて見つめ直し、それらを来訪や消費につながる魅力として発信していくことを目的とする。

2. 事業内容

①日 時：令和 8 年 9 月 29 日(火) 14:00～15:30 (受付開始 13:15～)

②会 場：八戸商工会館 3 階ホール

③演 題：なぜ、今ガストロノミーツーリズムなのか

～美食都市はちのへの食文化資源を再発掘する～

④講 師：合同会社ガストロノミーツーリズム研究所 代表 杉山 尚美 氏
(講師紹介)

2000 年(株)ぐるなび創業期に営業として入社。約 2 万店の飲食店と関わり、日本各地の食文化の豊かさを実感。

2013 年インバウンド・海外事業推進室長、2015 年執行役員に就任。食のインバウンド事業の基盤造り、海外展開を推進。

2023 年ガストロノミーツーリズム研究所を設立。

「地域事業者が主体となるガストロノミーツーリズム」をテーマに、食文化体験の創造、観光人材育成、地域ブランド構築など、実践的な地域支援に取り組んでいる。

⑤受講料：無料

⑥申込方法：下記 URL から申込 (申込期限 9 月 15 日)

<https://forms.gle/gkrLVSZF2YDAeTLZ7>

⑦共 催：一般財団法人 VISIT はちのへ・八戸商工会議所観光委員会



まるで、ワンダーランド。

セミナー

なぜ、今ガストロノミーツーリズムなのか

～美食都市はちのへの食文化資源を再発掘する～

2026年

9月29日 木 14:00～15:30 (受付 13:15～)

八戸商工会館3階ホール(八戸市堀端町2-3)

受講
無料

〔講師〕 合同会社 ガストロノミーツーリズム研究所
代表 杉山 尚美 氏

〔申込期限〕 9月15日(火)

〔申込方法〕 専用申込フォーム(QRコード)より
お申し込みください。

<https://forms.gle/Qo2kSS15BniBiJPE7>

参加にあたって…

はちのへエリアの食文化資源には
何があるか、どんな歴史があるのか
ぜひ考えてみてくださいね！



これからの時代、食の魅力を伝えるには

料理のおいしさに加え、
その背景にある歴史・風土・暮らしを伝えることで、
地域ならではの価値がより深く伝わります。

「なぜこの地域で、なぜこの食を味わうのか」
その物語が、来訪や消費のきっかけになります。

美食都市アワード受賞を一過性のものにせず、
はちのへエリアの食文化を
地域の魅力として磨き上げるためのセミナーです。

講師紹介



ガストロノミーツーリズム研究所
代表

杉山 尚美 氏 (すぎやま なおみ)

2000年(株)ぐるなび創業期に営業として入社。約2万店の飲食店と関わり、日本各地の食文化の豊かさを実感。2013年インバウンド・海外事業推進室長、2015年執行役員に就任。食のインバウンド事業の基盤作り、海外展開を推進。2023年ガストロノミーツーリズム研究所を設立「地域事業者が主体となるガストロノミーツーリズム」をテーマに、食文化体験の創造、観光人材育成、地域ブランド構築など、実践的な地域支援に取り組んでいる。

共 著

『ガストロノミーツーリズム 食文化と観光地域づくり』
(学芸出版社 2023年)



共 催



VISIT HACHINOHE

まるで、ワンダーランド。

TEL:0178-70-1110



八戸商工会議所

HACHINOHE CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

〔観光委員会〕TEL:0178-20-9274